

R4 南相馬市授業改善プラン【重点指導テーマ】

『学んだことをつかう授業』

～子どもたちの「さらに学びたい」に応える～

『R3 ふくしま学力調査質問紙』において、小学校国語や中学校数学で「授業で学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思ったこと」に対し、「よくあった」「ときどきあった」と回答した5年生は約77%に上ります。中学2年生では約58%となり、小・中学生ともに本県の値を上回る結果が現れています。「さらに一歩進んだ学習に取り組みたい」という意欲に溢れた子どもたちの多さは、本市児童生徒の大きな強みの一つと捉えることができます。

『R4 南相馬市授業改善プラン【重点指導テーマ】』をもとに、本市児童生徒の願いに応えるため、学年や教科にとらわれることなく、すべての教科等の授業において、学んだことを『つかう』授業の推進について重点的にご指導ください。学んだ知識や技能を子供たち自ら活用し、何ができるようになったかを体感できる授業づくりを目指します。

ポイント 評価問題・応用問題をする「つかう」場面設定

段階	学習活動・内容	時間	○教師の支援 評価規準
(例)	(学びを個に戻す活用場面の設定)	※ 15 分 程 度	◇評価問題ではすべてが暗記再生型とならないよう留意しましょう。 ◇ICTを積極的に活用し、学習のつまずき等に個別に支援できるようにしましょう。(評価問題の正答状況や自己評価のグラフ化による全体共有等) ◇応用問題により、できるようになったことを「つかう」場面を設定しましょう。 ※ 学習指導要領の学習内容に添うことが重要です！
終	◎できるようになったことを活用する。【一斉に「つかう」】 ○習熟度に応じた課題や問題により、学びを個に戻す。【個別に「つかう」】		
末	→評価(適用)問題に取り組む。 →ICTを活用し、共有化を図る。 →学んだ知識や技能を使って、 <u>応用(活用)問題</u> に取り組む。		

★応用(活用)問題例★ (教科書に解のない課題例)

①【授業での「つかう」例】

『小学校算数』 「ひし形の面積の求め方を考え、面積を求める公式」を導いた場合

→ 課題『たこ形の面積にも、ひし形の面積を求める公式が使えるわけを、図を使って説明してみよう』

②【小单元ごとの課題での「つかう」例】

『中学校社会』 「なぜ第二次世界大戦は起きたのだろうか」をめあてとした場合

→ 課題『第二次世界大戦はどうすれば防げたのだろうか』

③【单元全体を貫く課題での「つかう」例】

『中学校国語』 「メロスは、いつ、なぜ、どのようにして「勇者」になったのか」をめあてとした場合

→ 課題『メロスはどんな勇者になったか』

「つかう」場面設定までの指導過程例～

ポイント 「つかう」ことを前提にした導入

導入	1 めあて（目標）の確認をする。	5分以内	◇Can-Do（何ができるようになるか）を指導者は明確にしましょう。
	「問い」型（段階等に応じ行動目標型）		◇必要に応じて、本時のゴールを共有することも考えられます。 (例) 『〇〇することができる』 ※ 提示の有無等は授業者の構想によります。
	コンパクトでインパクトのある資料の提示を心がける！		

ポイント 話し合い等を通して子どもが成果を体得できる展開

展開	3～協働的な学びの場面の設定	25分程度	◇テンポ良く進め、「まとめ、振り返り」まで円滑につなげましょう。
	複数の考え方ができる「開いた発問」など		◇話し合い指示の例 ◆意見交換・確認 ◆意見集約 ◆発表準備 ◆比較・分類 ◆判断 ◆説明 ◆助言 等
	丁寧すぎる説明を省き、児童・生徒の考える余地を増やす！		

【授業改善プラン&授業スタイル関連図】

R4南相馬市授業改善プラン【重点指導テーマ】

令和4年度に咲かせたい児童生徒の「学びの芽」に特化した指導・支援にあたります。

『学んだことをつかう授業』

R3課題編



【南相馬授業改善プランⅥ】
(令和3年4月)

R2課題編



【南相馬授業改善プランⅤ】
(令和2年4月)

スタイルはこれまで同様、実践します。

本市では、これまで2つの「授業スタイル」資料を作成しています。スタイルを確認し、実践していきましょう。

【南相馬の授業スタイル】 (平成29年4月)

基本編



- 相互に啓発する授業展開例・
- 主体的に話したり書いたりする授業・
- 暗記・再生型から思考・発問型の授業へ・
- 「根拠つけて書く」力を育てるための3要素・
- ノート指導・板書のポイント・
- まとめのさせ方、適用のさせ方・
- 家庭学習を「見える化」する・
- 読書サイクルをフル回転させる・

【新・南相馬の授業スタイル】 (平成31年4月)

実践編



- 授業改善の合言葉・
- 話し合い・学び合いを活かした授業・
- 資料提示、課題提示を活かした導入・
- 子供が主役！学び合いの授業展開・
- 教師のコーディネート力の向上・
- まとめ、振り返りの工夫・
- 学力向上3つの鍵・
- 学習過程における生徒指導・

令和4年度から『R4授業改善プラン』とし、当該年度における重点指導テーマ設定により、さらに取組を焦点化しました。各校において校内研修の軸に据え、PDCAサイクルを進めることにより、児童生徒の資質・能力の育成に向け、全職員で一丸となって取り組んでいきましょう。